

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用、変更) 届出書

令和3年4月1日

神戸市長 あて

特定施設  
設置届記入例

届出者 住所

神戸市中央区加納町〇丁目〇番地〇号

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

有限会社 神戸金属加工

代表取締役 神戸 太郎

担当者 所属

氏名 神戸花子

届出をしている法人の担当者名を記載

電話番号 (078) 322-5678 郵便番号 650-1234

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	神戸金属加工	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	神戸市中央区加納町〇丁目〇番地〇号	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	66号 電気めっき施設	※施設番号	
第5条第1項関係	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1（第3条関係）（裏面）

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水水の排水系等別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙

(工場又は事業場の概要)

日本標準産業分類に基づく業種	電気めっき業
主な製品又は加工の種類	金属製品の表面処理、めっき加工
資本の額又は出資の総額	〇〇〇万円
常時使用する従業員の数	2人
用途地域	準工業地域
排出先・排水量	公共下水道： <input checked="" type="checkbox"/> 全量・一部（ 排水量：(通常) 3m <sup>3</sup> /日, (最大) 4m <sup>3</sup> /日
	その他：（ 排水量：(通常) m <sup>3</sup> /日, (最大) m <sup>3</sup> /日
	放流時間：常時, <input checked="" type="checkbox"/> 定時⇒ 8:00 ~ 18:00
有害物質使用・保管状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無) 物質名・使用/保管量：フッ化水素酸 1m <sup>3</sup> 、シアン化合物 廃液1.2m <sup>3</sup> 別紙のとおり
指定物質使用・保管状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無) 物質名・使用/保管量：水酸化ナトリウム 廃液 1.2m <sup>3</sup> 上記シアン化合物廃液に同じ
その他汚濁物質等の使用・保管	重油 1m <sup>3</sup>
その他参考となる事項	(月間稼働日数：27日, 定休日：日)
夜間・休日緊急連絡先	部署名 〇〇〇 TEL 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(届出の概要)

届出の概要及び理由 既設の電気めっきラインを更新する。	
汚染状態：減・ <input checked="" type="checkbox"/> 変わらず・増 排出水量：減・ <input checked="" type="checkbox"/> 変わらず・増	理由：既存の施設を同規模施設に入れ替えるため、排水量等の増減は無い。
施設入替の場合は、廃止予定施設の名称・届出年月日等、廃止予定年月日（別途廃止届が必要） 1号ライン（昭和55年1月20日届出済）を廃止する。（平成24年7月末撤去予定）	

添付書類（変更の場合は変更部分）

第1項（特定施設：右記を除く）			第3項(有害物質使用特定施設 下水接続 有害物質貯蔵指定施設)		
別紙1	特定施設の構造	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	別紙12	施設の構造	有・無
別紙2	特定施設の使用の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	別紙13	施設の設備	有・無
別紙1の2	特定施設の設備(有害物質)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	別紙14	施設の使用の方法	有・無
別紙3	汚水等の処理の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	別紙15	施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	有・無
別紙4	排出水の汚染状態の量	<input checked="" type="checkbox"/> ・無			
別紙5	排出水の排水系統の汚染状態の量	<input checked="" type="checkbox"/> ・無			
別紙6	用水及び排水の系統	<input checked="" type="checkbox"/> ・無			

<添付図面内訳>

別図1	工場付近見取図（主要河川等への放流経路を含む）	別図7	工場排水経路図（排水口の位置図を含む）
別図2	工場内の配置図（特定施設等、主要機械、主要装置、汚水処理施設等の配置図）	別図8	汚水処理施設の構造図
別図3	特定施設等の構造図	別図9	汚水等の処理系統図（フローシート）
別図4	有害物質使用特定施設等の周囲の構造図	別図10	届出施設の一覧表
別図5	有害物質使用特定施設等の設備の構造図	別図11	有害物質取扱い状況
別図6	特定施設等を含む操業系統図（フローシート）	別図12	点検等実施方法

特定施設の構造

工場又は事業場 における施設番号	No. 1	
特定施設番号 及び名称	66号 電気めっき施設	
型式	めっき槽 (〇〇製△△-□□)	メーカー名、機種名等、施設を特定できる内容を記載。
構造	材質：鉄製+塩化ビニル (構造図：別図3のとおり)	施設の主要部分の材質を記載し、構造図を添付。
主要寸法	L H W 1.0×1.2m×0.7m (別図3のとおり)	
能力	製品30kg/日	地下に設置している場合はその旨を記載。図面を添付。
配置	めっき工場棟1階 (別図2のとおり)	
設置年月日	年月日	年月日
工事着手予定年月日	平成24年9月24日	年月日
工事完成予定年月日	着手後1ヶ月	年月日
使用開始予定年月日	完成後	年月日
その他参考 となるべき 事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No. 1	
特定施設番号及び名称	66号 電気めっき施設	施設に付帯する配管、排水溝、ためます等の設備名を記載。
設備	地上配管、フランジ	
構造	配管：ステンレス製 フランジ：ステンレス製 (構造図は、別図4のとおり)	設備欄に記載した設備の材質を記載 検知設備を有する場合も記載。図面を添付。
主要寸法	配管：直径55mm×15m フランジ：径70mm×16mm (別図4のとおり)	設備のうち、主なものについて寸法を記載。
配置	めっき工場1階 (配置は別図2のとおり)	設備が配置されている建物の名称・位置等を記載。図面を添付。 地下に設置されている場合はその旨を記載。
設置年月日	年月日	年月日
工事着手予定年月日	平成24年9月24日	年月日
工事完成予定年月日	着手後1ヶ月	年月日
使用開始予定年月日	完成後	年月日
その他参考となるべき事項	有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載	

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。  
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

## 特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1				
特定施設番号番号及び名称	66号 電気めっき施設				
設置場所	別図2のとおり				
操業の系統	別図5のとおり				
使用時間間隔	8:00~18:00				
1日当たりの使用時間	8時間				
使用の季節的変動	なし				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	苛性ソーダ 1kg・〇%液で使用 フッ化水素酸 1kg・〇%液で使用 処理対象物：金属部品 30kg				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5~7	4~10		
	BOD (mg/L)	30	40		
	COD (mg/L)	30	40		
	SS (mg/L)	40	50		
	T-N (mg/L)	3	5		
	T-P (mg/L)	0.1	0.2		
	n-ヘキサン抽出物質	1未満	1未満		
	ふっ素 (mg/L)	200	300		
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	
	2.0	3.0			
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

## 汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設								
処理施設の設置場所	別図2のとおり								
設置年月日	平成元年4月10日(既設)	年 月 日							
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日							
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日							
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日							
種類及び型式	〇〇社製 △△△型								
構造	材質：鋼+塩化ビニルライニング 別図7のとおり								
主要寸法	1m×1.3m×2m								
能力	1.2m <sup>3</sup> /時								
処理の方式	中和・凝集沈殿ろ過								
処理の系統	別図8のとおり								
集水及び導水の方法	別図2のとおり								
使用時間間隔	8:00~18:00								
1日当たりの使用時間	2時間								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	中和剤 濃硫酸△kg 凝集剤 PAC ○kg								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	5-7	5.8-8.6	4-10	5.8-8.6				
	BOD (mg/L)	30	5	40	10				
	COD (mg/L)	30	10	40	15				
	SS (mg/L)	40	5	50	10				
	T-N (mg/L)	3	3	5	5				
	T-P (mg/L)	0.1	0.1	0.2	0.2				
	n-ヘキサン抽出物質 ふっ素 (mg/L)	<1	<1	<1	<1				
	量(m <sup>3</sup> /日)	2.0	2.0	3.0	3.0				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	脱水汚泥20kg 産廃業者へ処分委託								
排出水の排出方法	別図1, 2のとおり								
その他参考となるべき事項									

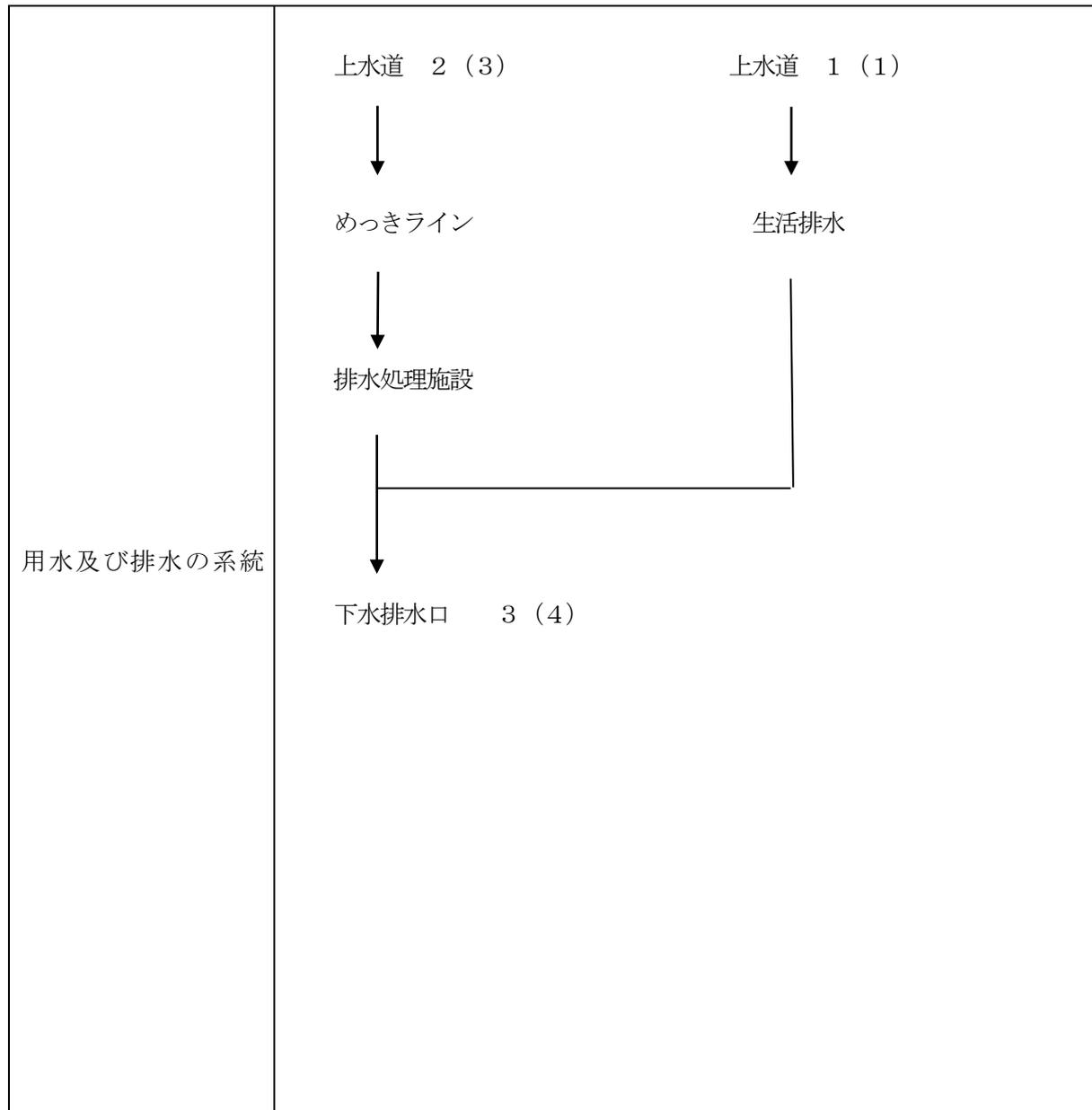
- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

## 排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		下水排水口No.1		雨水排水口No.2～No.5	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5.8～8.6	5.8～8.6		
	BOD (mg/L)	5	10	雨	
	COD (mg/L)	10	15	水	
	SS (mg/L)	5	10	専	
	T-N (mg/L)	10	12	用	
	T-P (mg/L)	0.1	0.2	排	
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	<1	<1	水	
	ふっ素 (mg/L)	0.5	0.8	口	
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
		3	4		
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用水及び排水の系統

用途別 用水量	用途	使用水	用水量 (m <sup>3</sup> /日)
	洗浄用水	上水道	3
	生活用水	上水道	1

## ○添付書類の作成方法

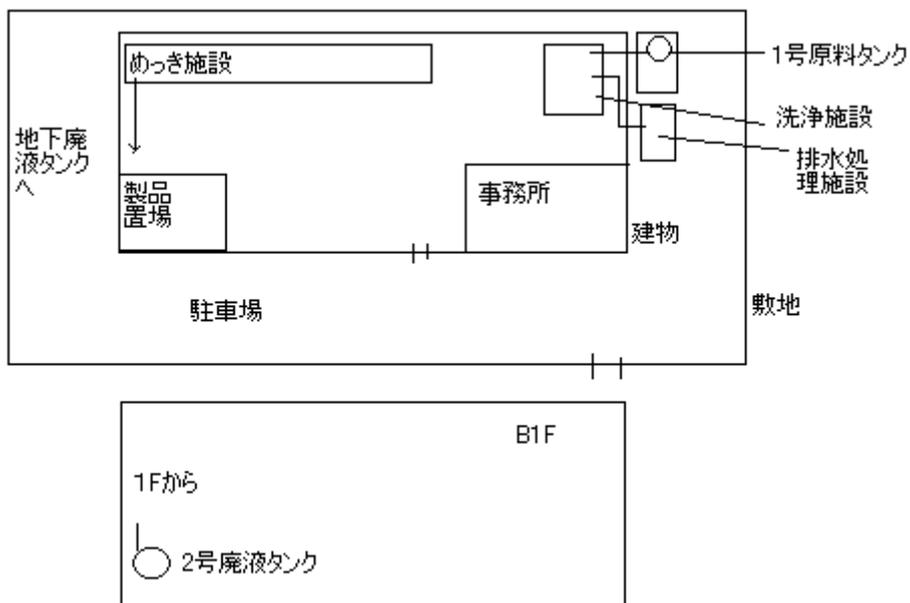
### 別図1 工場付近見取図

工場付近の地図を添付してください。

### 別図2 工場内の配置図

特定施設、貯蔵指定施設、その付帯設備（配管、排水溝等）、排水処理施設その他主要機械等の配置を、敷地・建物各階平面図に明示してください。

(例)



### 別図3 特定施設等の構造図

特定施設、貯蔵指定施設の立面図、平面図、材質、仕様書など図面等が無い場合は側面・上下の写真（寸法を明示する）

### 別図4 有害物質使用特定施設等の周囲の構造図

施設の床面、腰壁など周囲の立面図、平面図、材質など図面等が無い場合は施設周囲の写真（寸法を明示する）

### 別図5 有害物質使用特定施設等の設備の構造図

施設に付帯する配管、継ぎ手、フランジ類、バルブ類、ポンプ設備、排水溝等の立面図、平面図、材質など図面等が無い場合は施設周囲の写真（寸法を明示する）

### 別図6 特定施設等を含む操業系統図

特定施設、貯蔵指定施設を含む操業の系統を明示する（フローシート）

- (例) ・ 金属機械部品 → 酸洗浄（フッ化水素酸を使用）※→水洗浄→乾燥  
フッ化水素酸貯蔵タンク  
（酸洗浄施設とその排水処理設備は別途水質汚濁防止法で届出済）
- ・ 金属製品→電気めっき（亜鉛めっき）→出荷  
└→廃液→保管→業者委託  
（電気めっき施設は別途水質汚濁防止法で届出済）

### 別図7 工場排水経路図（排水口の位置図を含む）

工場内の排水経路（工程排水の他に冷却水、生活排水、雨水も示すこと。）を排水系統別に平面図に明示してください。



別図 12 点検等実施方法

※ 下記の表はC基準を基に例を作成しています。施設によっては該当しないものもありますので、ご注意ください。  
 使用の方法に係る点検（管理要領）は、6月1日現在既存の施設は3年間免除されます。  
 また、作成した表を元に、各事業場において点検日・点検者名などを記入する点検記録簿を作成してください。

No.	点検箇所	内容	方法	頻度
1	施設 No.1 の床面	ひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	目視	1月に1回
2	施設 No.1 本体	ひび割れ、亀裂、損傷その他の異常の有無	目視	1年に1回
3	配管 1 FA～B 部分 (バルブ等含む)	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
4	配管 1 FB～C 部分 (同上)	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
5	配管 B1FC～D 部分 (同上)	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
6	ポンプ	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
7	排水溝 A (目視可能部分)	ひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	目視	1ヶ月に1回
8	排水溝 B (目視不可能部分)	ひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	堰を設けて 流量を測定	1ヶ月に1回
9	排水溝 A・B	内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下への浸透の有無	水位を測定	1年に1回
10	施設 No.2 (地下貯蔵タンク)	地下貯蔵施設の内部の気体の圧力若しくは水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の漏えい等の有無	タンク内の 気圧を測定	1年に1回
11	使用の方法 受け入れ	飛散、流出、地下浸透など、管理要領からの逸脱	管理要領	作業時※
12	使用の方法 設備の作動状況	管理要領からの逸脱	管理要領	作業時※
13	使用の方法 廃液の移し替え	飛散、流出、地下浸透など、管理要領からの逸脱	管理要領	作業時※
14	使用の方法 事故時	漏洩、流出した場合の措置	管理要領	事故時に記録

※各施設の状況に応じて点検方法・回数を管理要領で定めること。

(点検記録簿)

点検対象特定施設 (有害物質貯蔵指定) 施設名		1号原料タンク			
点検年月日		平成 24 年 6 月 24 日		点検実施責任者	
				神戸太郎	
No.	点検箇所	方法	結果	措置等内容	点検者
1	施設の床面	目視	亀裂あり	6月24日にコーキング剤で補修済	神戸花子
2	施設本体	目視	異常なし	—	神戸花子
3	配管 1 FA～ B 部分	目視	異常なし	—	神戸花子
	(以下略)				